

取組状況・成果

【地域の安全・安心】

- 安全推進地域活動重点地区（以下重点地区という。）活動団体を拡大（H28年度107団体）するなど、防犯活動を積極的に推進してきました。重点地区では防犯意識向上と情報交換のための防犯活動推進連絡会及び防犯リーダー実践塾を開催しています。また、相互連携や人的交流の推進を目的とする重点地区の連携による安全マップ作成等の事業を実施しました。さらに、重点地区を対象に防犯カメラ整備の促進を図るため費用助成を行っています。
- まちの環境美化を促進し治安向上につなげるため、落書き消去剤を貸出すなど消去活動を支援しました。また、安全安心メールにより、犯罪発生情報等を発信し、情報提供及び防犯意識の向上に努めました。

【繁華街対策】

- 区民や新宿区を訪れる方に不快感や不安を与える客引き行為をなくし、誰もが安心して楽しめる街づくりを実現するため「新宿区公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例」を制定しました。制定後も客引き行為の悪質化や巧妙化が進み、飲食店舗の健全営業を妨げている現状があることから、条例を改正し、罰則規定を導入しました。また、同条例の改正に併せて、警備会社による客引き防止パトロールを実施し、実施区域における客引きの減少が認められています。
- 危険ドラッグ撲滅条例を施行し、キャンペーン等の実施などにより、区内から危険ドラッグ販売店舗を撲滅しました。

【詐欺・消費者対策】

- 振り込め詐欺対策として、警告メッセージの再生と通話内容の録音を行う自動通話録音機約200台を配布するとともに、キャンペーン等啓発活動を実施したことにより、区内振り込め詐欺発生件数が75件（平成26年）から58件（平成27年）へ減少しました。
- 平成27年度に消費生活地域協議会を設置し、新宿区における消費者教育及び消費者安全確保の推進に取り組んでいます。

現状・課題

【地域の安全・安心】

- 安全・安心のまちづくりに対する関心が高まり、地域における防犯活動も活発に行われていますが、依然として犯罪に関する区民の不安は解消されておらず、防犯パトロールや子どもの見守り活動等の自主防犯活動の推進や防犯カメラの設置等、より一層の取組みと防犯意識の向上が求められています。

【繁華街対策】

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催により、国内外からの来訪者の増加が見込まれ、犯罪や犯罪被害者の増加が懸念されます。また、客引き行為が悪質化、巧妙化しており繁華街の安全安心対策が求められています。

【詐欺・消費者対策】

- 振り込め詐欺等の身近な犯罪など、地域の目で犯罪を防ぐ力を高めることが必要となっています。
- 悪質商法や契約上のトラブルなど消費生活に関する相談や苦情は多様化、深刻化しており、消費者問題への的確かつ速やかな対応が求められています。
- 特に、被害が潜在化しやすい高齢者や障害のある人などは、次々に悪質商法の被害を受け、生活にも支障をきたすなど深刻な問題となっています。被害の早期発見が求められています。
- 消費者市民社会を構築していくためには、幼児期から高齢期まで人生のライフステージに対応した消費者教育の推進が求められています。

目指すまちの姿・状態

- すべての区民が、犯罪等の不安を感じることなく日々の生活を送ることができる、安全で安心な暮らしやすいまちをめざします。

施策の方向性

【地域の安全・安心】

- 多種多様な犯罪から身を守るために、的確で新しい情報を提供し、防犯意識の向上を図っていきます。
- 警察・消防や関係部署との協力体制をさらに強め、防犯カメラ設置を促進し、犯罪が起こりにくいまちづくりに取り組みます。

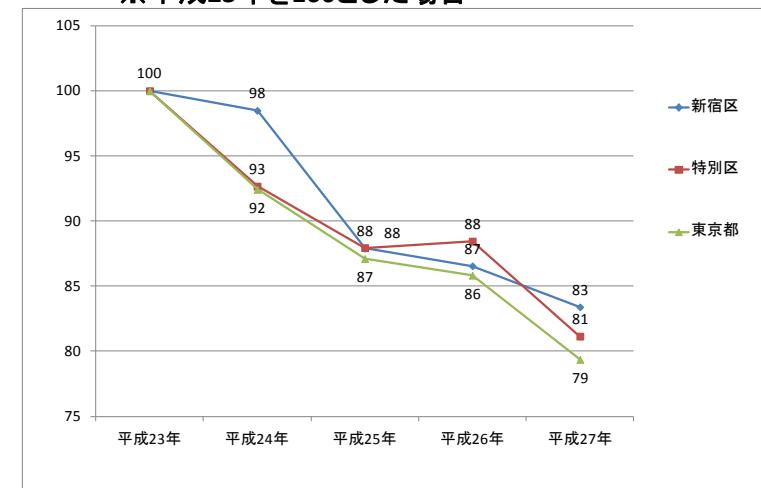
【繁華街対策】

- 地域の防犯対策や客引き行為等の防止など繁華街対策など日常生活の安全・安心を高め、暮らしやすいまちを実現します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催やその後を見据え、区内4署の警察署及び民間事業者を含む関係機関との連携により、区民の安全安心に向けテロを初めとする犯罪の抑止へ向けた取り組みについて、より一層の強化を図ります。

【詐欺・消費者対策】

- 振り込め詐欺等身近な犯罪の防止に取り組めます。
- 幼児期から高齢期までの人生のライフステージに対応した消費者教育の推進に取り組んでいきます。
- 高齢者や障害者など、特に悪質商法の標的にされている人々への啓発や情報提供、相談等の対応や、地域の見守り機能や相談機能の強化を図り、潜在化複雑化している消費者問題への関係機関・団体との連携協働のものと的確に対応していきます。

（図表1：新宿区・特別区・東京都の刑法犯認知件数の推移）
※平成23年を100とした場合



資料) 警視庁「自治体別刑法犯発生件数」

（図表2：新宿区の刑法犯認知件数）

	刑法犯認知件数	強盗	侵入窃盗	ひったくり	車上ねらい	自転車盗	オートバイ盗	自動車盗
平成23年	9,521	40	416	41	191	1,930	143	7
平成24年	9,377	48	345	38	134	1,713	127	10
平成25年	8,369	35	401	39	126	1,604	90	13
平成26年	8,240	64	297	45	126	1,819	46	4
平成27年	7,940	52	356	50	104	1,619	50	4

資料) 警視庁「自治体別刑法犯発生件数」